

FMS調達後の合理性の検証等に関する質問主意書

提出者 原口 一 博

FMS調達後の合理性の検証等に関する質問主意書

政府は、「衆議院議員原口一博君提出FMS調達後の合理性の検証等に関する質問に対する答弁書」（内閣衆質二一二第三二号）において、FMSによる調達の合理性を検証するに当たり、「装備品等のプロジェクト管理に関する訓令（平成二十七年防衛省訓令第三十六号）等に基づき、装備品等の調達の進捗状況、経費の発生状況等について、当該調達に当たってあらかじめ定めた計画との比較を行うとともに、その結果の分析及び評価を行うなど所要の確認を行うこととしているほか、各年度の予算編成過程において、調達した装備品等について、その必要性、性能、代替案、価格等の確認を行うこととしている」と答弁している。

これを踏まえ、次のとおり質問する。

一 「装備品等の調達の進捗状況、経費の発生状況等について、当該調達に当たってあらかじめ定めた計画との比較を行うとともに、その結果の分析及び評価を行うなど所要の確認を行う」としているが、これにより改善された具体的なFMSによる調達品は何か。

二 「各年度の予算編成過程において、調達した装備品等について、その必要性、性能、代替案、価格等の確認を行う」としているが、令和六年度予算の編成過程において、これらの確認を行った結果として継続

して調達することとした主な装備品は何か。また、当該装備品を継続して調達することとした理由について、右記確認の観点から説明されたい。

右質問する。